



「CS」は、コミュニティ・スクールの略称です。

若基小CSだより

第2号 令和7年7月14日

◆◆第2回学校運営協議会を開催しました◆◆

7月9日(水)に第2回目の学校運営協議会を行いました。今回は、ICT活用、いじめ・体罰アンケート、校内研究などについて意見交換を行いました。



【ICT活用について】

学校では、タブレットを「心の健康観察」や授業、宿題などで使っています。子供たちには、4月に、タブレットの使い方について話をしました。話の内容は4つで、タブレットは勉強のために使用すること、デスクトップの背景やアイコン・マウスポインタは変更しないこと、著作権について、肖像権についてです。

また、夏休み前にも、もう一度、子供たちにタブレット使用の約束についての話をします。みんなが楽しく学習するためにタブレットを使っているの、学校全体でタブレット使用の約束を守って使っていきたいと思います。

学校運営協議委員の皆様からは、以下のような意見が出されました。

- ・使ってよいアプリやサイトの内容が保護者には分かりにくい。使用画面だけを見ても、学校で許可されたものかどうかの判断がつかない。
- 検索やタイピング練習に活用できるものなど、学習に使うものが基本で、ゲームなど遊びになるものはNGと子供たちにも伝えていきますので、家庭でも共有していただけるとありがたいです。
- ・タブレット活用が進み、漢字力や書く力が低下している学校があるという話をテレビで見たが若基小学校はどうか。
- タブレットだけではなく、漢字ドリルや漢字ノートを使って学習しているので、タブレットを使い始めたことで漢字力が低下したということはない。作文の推敲をタブレットで行った後、作文用紙に鉛筆で書くというように、子供に身に付けさせたい力を考えながら、有効にタブレットを使っていきたい。

【いじめ・体罰アンケートについて】

いじめ・体罰アンケートの結果をもとに意見交換を行いました。「親は子供の見方だから安心していいよと伝えることが大切。」「学校以外の居場所作り、友達からの温かい言葉があると、嫌だと思ったことがあっても乗り越えることができる。」「子供が嫌だと感じたことがあったときの対応の仕方は個々で違う。正解がないので、子供の話をしっかりと聞き、対応していくことが大事。」など、たくさんの意見が出ました。

集団の中で過ごしていると、楽しいことばかりではなく、大変なことや頑張らないといけないことなど、様々なことが起こります。そのような中でも、笑顔で過ごすことができるよう、学校・家庭・地域が子供にとっての温かい居場所となれるよう努めていきたいと思います。



【学校運営協議会による学習支援について】

1学期は、下記のような学習支援をしていただきました。地域の方々のご支援のおかげで、子供たちは、学校生活の楽しみが増えました。本当にありがとうございました。

実施学年	内容
3～6年	ふれあい夢広場で果物狩りを行いました。3・4年生は、ブルーベリー、5・6年生は、プラムを収穫しました。どちらも豊作で、子供たちは、紙コップやビニール袋にたくさんとってきていました。
6年生	家庭科の学習「日本の伝統～郷土料理～」の一環として、いも餅作りを行いました。地域の方に教えていただきながら、じゃがいもと片栗粉という少ない材料でおいしいいも餅が完成しました。子供たちは、いも餅のおいしさに大満足していました。

2学期以降も、ふれあい夢広場でのみかん狩り(1・2年生)や昔遊び(1年生)を計画していますので、ご協力お願い致します。

